

さらに効率的な牛受精卵の採取を目指す！

1頭の雌牛からより多くの受精卵を採取する効率的な過剰排卵処理技術を開発するため実施している9県との共同試験の中間検討会が、9月9日、奈良県で開催されました。今回、発情周期調整剤（プロゲステロン・安息香酸エストラジール配合剤）と性ホルモン（GnRH）を併用した処理方法が、従来の方法より優れた結果となり、より多くの受精卵の供給に目途が立ちました。



黒毛和種の子宮内から受精卵を採取しています

畜産センター
碓高原牧場